

参考になる
ガレージ実例集!
クルマ & バイク
趣味のガレージ実例集

Garage Life

ガレージングは男の夢だ!

ガレージ・ライフ
2021-10
AUTUMN
vol. 89

ガレージ・ライフ10月号
第21巻第4号令和3年9月1日発売
季刊1日発売
(3月・6月・9月・12月)

特別企画
10年後の
ガレージを訪ねる。
噂の現場レポート
今日からはじめる
ヤシの木ライフ。



特集

ガレージの床 最適な床の仕上げ方。

PAINT FLOOR

EX03 床を塗ってみる 大阪府・HARU 邸

EX01 床を貼ってみる 神奈川県・N 邸

TILE

最適な床の仕上げ方。

ガレージの床仕上げはいろいろな施工方法がある。
使用用途、目的により仕上げ方は異なるが、
どのような仕上げ方が、あっているだろうか?
そこで仕上げ方が異なる3タイプのガレージ取材した。

PLACON FLOOR

EX02 床を磨いてみる 東京都・F 邸

EX04 床を練ってみる 新潟県展示場

AGING FLOOR

ガレージ床の仕上げ方

[GARAGE FLOOR]



FLOOR TYPE ウッド仕上げ

GarageLife
#85
にて紹介

無垢の木材を使用することで、ぬくもりをもったガレージにすることができる。年月を重ねることで、風合いが増してきて、ガレージの風合いが変わることが特徴。ただし、オイルの染み込みやゴミやホコリの問題を理解したうえで施工したい。

FLOOR TYPE 塗料仕上げ

GarageLife
#89
にて紹介

DIYでも施工ができるので、コスト的には一番リーズナブルなのが床専用塗料の施工だろう。ホームセンターなどで専用塗料が購入できる。ただし、商品を間違えると剥がれたり、オイルが染み込むので専用塗料を使いたい。

ガレージの床は仕上げ方により、全体的なイメージが大きく変わるのをお気づきだろうか？
まずはガレージの使用用途を考えてほしい。クルマのメンテナンスをするならば、ハンドツールを落とすとしても傷がついていように施工したいし、オイルが漏れるクルマを所有している場合にはオイルが染み込まない対策をしたい。またスーパーカーなどを所有している場合には、ショーアップできるタイルや磨いたコンクリートなどが候補にあがってくるだろう。またデザインコンクリートなどによりスタイルの自由度があるものもある。まずは、ガレージをどのように使って、どうやって仕上げるかも重要な床仕上げのファクターになるはずだ。いろいろな作品を見て、ぜひ参考してほしい。

コンクリートを磨くことで鏡面仕上げにできるのが研磨工法「ブラコンフロア」。新規のコンクリートおよび、施工後でも磨くことは可能。強度が高く、大理石のような仕上がりを半永久的に楽しむことができる。

GarageLife
#89
にて紹介

FLOOR TYPE コンクリート鏡面仕上げ



FLOOR TYPE カラータイル仕上げ

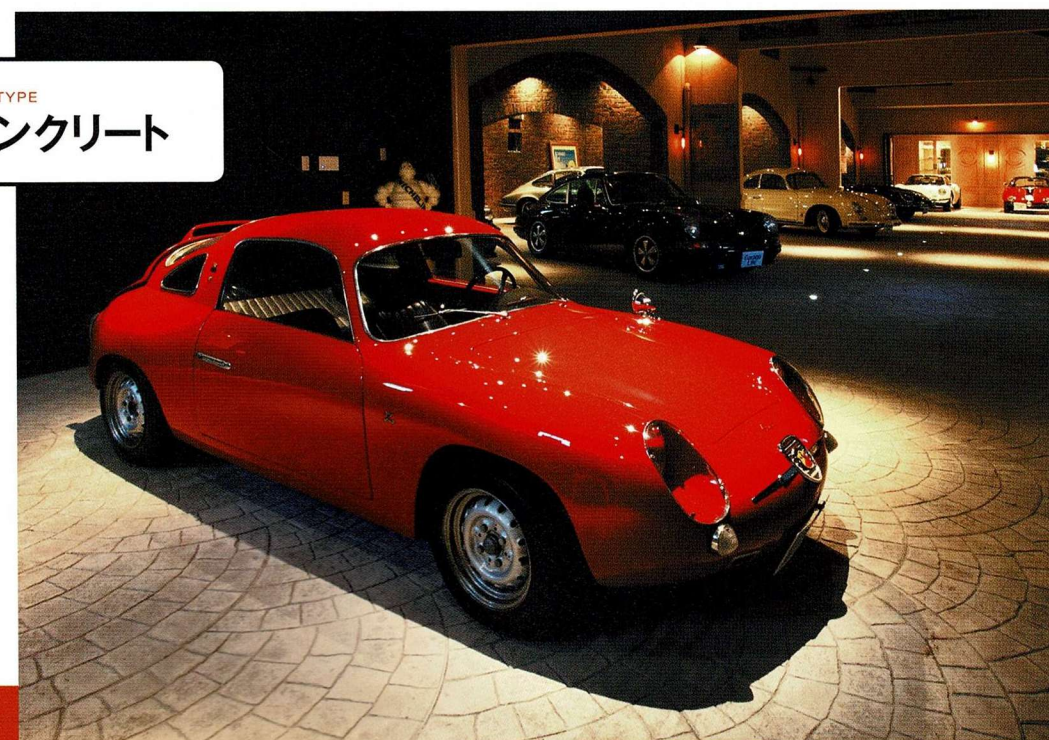
クルマのショールームやレース場などで採用されているのが、カラータイルだ。ガレージの広さに応じてカットできるほか、分割できるので持ち運びができるのが最大のメリット。カラーも選べるのでクルマに合わせて施工したい。

GarageLife
#89
にて紹介

FLOOR TYPE デザインコンクリート

コンクリートを使って、レンガや石材を表現したり、様々な模様を描くことができるのがデザインコンクリート。コストを抑えながら設計を楽しめることや、外構とデザインを合わせることができるなど最近流行中。

GarageLife
#69
にて紹介



最適な床の仕上げ方。

厚さのあるタイルを採用することでショールームのようなガレージに仕上げることができるのがタイル仕上げ。ただし下地をきちんと施工しないと、クルマの重さに応じてクラックが入ることもあるので理解したうえで施工したい。

GarageLife
#89
にて紹介

FLOOR TYPE タイル仕上げ





TILE

FLOOR PLAN

TECTile (テックタイル)

1枚 800円

1㎡ 7,350円 (全て税別)

BLACK_85枚
DARK GRAY_102枚
LIGHT GRAY_17枚
RED_56枚 EDGE_74本
CORNER_4枚

EX01

神奈川県・N邸

テックタイルを敷き詰めてリニューアル。
落ち着いた大人の空間を演出。

Photo/Hiroyuki-KONDO (近藤浩之)
Text/Jun-ISIHARA (石原 淳)
Special thanks to TECTile
<https://tec-tile.jp/>

330mmサイズのジョイントで繋ぐTECTileは全11色。樹脂製でガレージの他、展示会やオフィスなどで採用されている。



最適な
床の
仕上げ方。

FLOOR PLAN **TILE**



屋上から海を臨むことができる高台に建築されたRC造のN邸。シンプルなデザインはNさんがご自身で描いた間取り、デザインだ。



上 / 現在は車検を切らしてしまっていたがイタリアのスポーツバイクドゥカティMH900eも保有。いつかはまた車検を取得してドライブする予定だ。
 下 / 2台のスポーツカーが収まるN邸のガレージ。1台はクラシックなライトウェイトスポーツカー、もう1台は最新鋭のポルシェという異なるドライビングフィールを楽しんでいる。



TECTileが敷き詰められたガレージの壁面には通信販売で購入したという大型ミラー。W900mm、900mm、1200mm。Nさんが自分で設置したという。

EX01

タイルを購入してD.I.Y.で施工。 カラーも11色から組み合わせ。

神奈川県に2007年に竣工したのはRC造2階建てのガレージハウスだった。ガレージの床面もモルタル素地のまま暫く過ごしていたが、施工から13年が経過したガレージの床面はだんだんクラックが目立つようになってきた。そこでガレージに手を入れようと考え、ネットで床材を探していたときに出会ったのがTECTile(テックタイル)だった。

TECTileとは330mmのタイルを自分で簡単に敷くことができる樹脂製の連結式タイル。防炎性能基準も満たしており室内の展示会でも採用頻度が増加している新しい床材。ガレージへの導入事例も増えてきている。Nさんも、ガレージの面積を考えて、このタイルを敷き詰めればクラックの悩みがクリアで

きるほか、ガレージのイメージも変わると採用を決めたという。

Nさんのガレージハウスは、13年前に竣工しているが、当時Nさんが購入した約55坪の土地を、いかに楽しく有効に使えるかを考えて、2年かけて家を研究して、自分でエクセルを使ってデザインを手掛けたガレージハウスだった。よってRC造の家は地下に寝室、浴室が設けられ1階はガレージと玄関、2階にはリビング、屋上はリアルな庭があるなど工夫された家となっている。

当時、Nさんが描いた設計図を建築事務所に構造計算をして施工しているのがN邸だ。

テーマはグリーン、レッド、シルバーを使ったシンパ

最適な 床の 仕上げ方。



1996年型ハーレーの横にあるのはイエローのSnap-On製TOOLBOX。RCで造作された椅子にTOOLBOXとお酒をガレージに保管。

最適な床の仕上げ方。

EX01

ルで過ごしやすい家となっているのだった。「それまではマンションの共同住宅で暮らしていたため、その反動があったかもしれない」とはNさん。ガレージには3年かけてフルレストアした、イギリスのコンパクトスポーツカー・1964年式MG-Bが格納され、もう1台ボルシェ911が収められている。またヨーロッパな雰囲気とは真逆なハーレーも収められるなどまさに好きなものが詰まった空間に。

ガレージシャッターには『アドヴァン』がイタリアから輸入、販売しているSILVELOXドアをNさんが指定し、導入。この木製ガレージシャッターは、カウンターバランス式で錘を使用し天秤のようにバランスを取る方式を採用。ガレージシャッターを閉めたままでも自由に入出りできるセンタードアが特徴で、このセンタードアがあることがNさんがこのシャッターを選定した理由の1つ。断熱性、気密性にも優れているようだ。

TECTileの購入は'21年5月のこと。コロナ禍において外出することが減り、ガレージで過ごす時間が増えたことがきっかけ。HPで施工例を確認しながら、必要枚数を割り出し全11色のなかからブラックを85枚、ダークグレーを102枚、ライトグレーを17枚、レッドを56枚、エッジを74本、コーナーを4枚購入し、Nさんが自ら2時間程度で施工したものだ。施工後、予想していたようにガレージとのマッチングがよく購入してよかったとはNさん。1枚の単価も800円からとリーズナブルなところも買いやすかったそうだ。まだ、使用して三か月ではあるが、ガレージの見た目、ホコリや汚れのことを考えるだけでもTECTileを敷いて非常に満足しているとのこと。

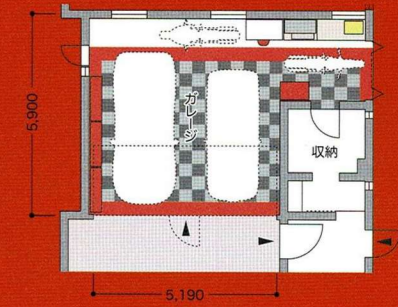
まさにガレージで過ごす時間が増えたことがきっかけとなったガレージリニューアル。それは、ガレージの床にタイルを敷き詰めたことで利便性と意匠性が格段に向上した好例といえるだろう。



1 / ガレージ前のカーポートは三協アルミ製のデザインに優れたものを竣工後に購入。母屋の外観に合わせて設置した。2 / ガレージのライトは当初、10個のスポットライトを設置。その後、10個のLEDライトを追加して現在、20個のスポットライトを設置している。3 / ガレージシャッターは、イタリア製スウィング・ガレージシャッターをNさんが指定して購入。玄関ドアもシャッターに合わせて同じメーカーに依頼している。4 / 換気柱は家を建築したときに設置した三菱製の有圧換気扇。サイドドアからも行き来ができるようになっている。5 / ボルシェ911の背面にはタイヤラックを設置。クルマとの干渉を防止するために、ミラーを設置している。6 / 1996年式ハーレー・ダビッドソンの横のRCの椅子の上にはSnap-On製のTOOLBOXとリビングから移動させたアルコール類。7 / 竣工時に設置したのはRCで造作した水栓。ガレージで作業しているうちに手狭になり、自分でラックを購入して上部に収納スペースを追加している。

ガレージの壁面に設置したのはHOME ERECTA製のレッド。ガレージドアの開閉に合わせて高さを調整している。

POINT
ガレージの床ここがポイント
自分でクルマの色やガレージに合わせてカラーをチョイスできることと、自分で施工ができるので時間を有効に使うことができました。



Planning Data

- 所在地 ● 神奈川県
- 施主 ● Nさん
- 構造 ● RC造
- 敷地面積 ● 182.26㎡
- 延床面積 ● 200㎡
- ガレージ面積 ● 39.65㎡
- 愛車 ● 1964年式 MGB
2021年式 ボルシェ911
1996年式 ハーレー・ダビッドソン
2017年式 G350d
2019年式 A200d
2000年式 ドゥカティ 900e

問い合わせ

TECTile (テックタイル)
(株式会社オンリースタイル)
Phone/03-4455-7426
https://tec-tile.jp/
Mail/info@onlystyle.jp